

平成24年度
実施事業

事務事業名 **墓地管理経費 (墓参バス借上げ料)**

区分	No	名 称									
章	2	自然とともに暮らすまち									
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり									
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出									
小分類	5	葬斎場・墓地の整備									
主要な施策	2	②墓地の整備									
事務事業番号	003	事業開始年度	平成	-	年度	事業終了年度	平成	-	年度	会計種別	一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	富浦墓地及び第二富浦墓地、亀田霊園は、市街から離れた高台にあり、近くに駅及びバス停等がないことから、墓参困難者を救済するため、お盆時季に無料墓参バスを運行する。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	富浦墓地及び第二富浦墓地については、美園・上鷲別・鷲別地区、若草・幌別地区、幌別・登別地区の3ルートを設定し墓参バスを運行。また、亀田霊園については、イオン登別店前バス停から市バスの運行によるピストン輸送を行った。 【平成24年度実績】 ・運行日 平成24年8月13日(月) ・運行台数 富浦墓地、第二富浦墓地：3台 亀田霊園：1台(市バス使用) ・乗車人数 富浦墓地、第二富浦墓地：59名 亀田霊園：6名(延べ人数 8往復)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	今後についても墓地利用者の高齢化等により墓参バス利用者があることと見込まれ、現行に代わる民間バス等での公共交通手段がないために継続していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	120	120	126	126	126
事業費 合計			120	120	126	126	126

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 乗車人数	人	目標値	132	132	132	132	132
			実績値	77	59			
	② 乗車率	%	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	58	44			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
亀田霊園行き墓参バスの乗車人数が少なかった。 早い時間帯の運行がないため、利用づらいとの意見があった。 亀田霊園行き墓参バス利用人数（市バス利用） 【平成23年度】 ①乗車人数 18名（延べ人数） ②運行回数 8往復 ③運行時間 11時から15時の間	亀田霊園行き墓参バスの運行時間を 「11時から15時の間」（H23）から「8時30分から12時30分の間」（H24）に変更した。 亀田霊園行き墓参バス利用人数（市バス利用） 【平成24年度】 ①乗車人数 6名（延べ人数） ②運行回数 8往復 ③運行時間 8時30分から12時30分の間	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 現行に代わる民間バス等での公共交通手段がないため、墓参困難者の救済制度としては有効である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 当該墓地はバス停留所から距離があり、墓地までは急な坂道であることから、交通手段を持たず墓参が困難な方の不便を解消するために本事業を実施している。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 以前に比べると利用者数は減少しており、経費は一定額掛かるが、民間バス等での代替手段がなく、墓参困難者を救済するための制度であるためやむを得ない。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 自家用車の普及等の影響もあり、乗車数は減少傾向にあるが、墓地利用者の高齢化等により墓参バス利用者があることと見込まれ、市民からも当該バスが無いと墓参ができないとの声もあるため、一定程度の成果はあがっていると考え。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） 当該墓地は市街から離れた高台にあり、バス停留所からの距離があり交通手段を持たず墓参が困難な方の不便を解消するために本事業を実施している。また、現行に代わる民間バス等での公共交通手段がないため、今後も利用状況等を注視した中で、運行台数の縮減及び運行経路、運行回数等の見直しに努める。 なお、亀田霊園への墓参バスについては、運行開始後2年ということもあるため、5年間の利用状況を踏まえ、今後の方向性について検討する。
-----------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

改善	備考 亀田霊園行のバス利用者が極端に少ないことを踏まえ、今年度は周知に力を入れるとともに、利用状況をみながら今後の路線存続の検討を行うこと。
-----------	---

③総合的な評価（当該事務事業の方向性） 《Action》

改善	備考 亀田霊園行のバス利用者が極端に少ないことを踏まえ、今年度は周知に力を入れるとともに、利用状況をみながら今後の路線存続の検討を行うこと。
-----------	---

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施箇所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）